

# 観客アンケート満足度90%以上! 26年度プログラムレポート

通年

## サンデー・マティネ・コンサート& サンデー・マティネ・コンサートPlus+

開館当初から継続しているサンデー・マティネ・コンサートは、第123回目からスタートしました。仙川にゆかりのある演奏家によるクラシックコンサートのほか、日本音楽や民族楽器の演奏などバラエティに富んだ内容をお届けしました。  
(金管五重奏/アルパ/オーボエ/ギター/イタリア/パロック/三線/竹楽器/声/チェンバロ/弦楽四重奏/箏(そう)/ヴァイオリン/クラリネットアンサンブル/邦楽/雅楽/ハープ&フルート/合唱)  
また、より本格的な内容をワンコイン500円でお届けするサンデー・マティネ・コンサートPlus+を3回開催し、身近で贅沢な時間を楽しんでいただきました。  
(ヴァンサン・リュカ(フルート)/音楽&朗読「兵士の物語」/与那城敬(バリトン))



## ファミリー音楽プログラム

5月に開催した子どものための演奏会入門「はじめてのオペラ」編では、有名な作品からのアリア演奏に解説を交え、オペラの楽しみ方を学ぶコンサートをお送りしました。3月は、親子でピアノ連弾を楽しむ「おやこ連弾」。ピアニスト萩野千里さんによる2回のクリニックとお家での練習を通して、発表会で演奏を披露。ほほえましいエピソードが飛び出し楽しいコンサートとなりました。



## アウトリーチ

アウトリーチとは、「手を伸ばす」の意から「地域への奉仕、援助、福祉活動」「公共機関の出張サービス」などの活動を総称しています。せんがわ劇場では、劇場と関わりの深い若手舞台芸術活動者を中心としたチームが定期的な勉強会を行い「演劇アウトリーチ」として調布市の公立小中学校へ伺っています。また「音楽アウトリーチ」として、演奏家による出張コンサートも実施しています。

6/7月

## せんがわシアター121 Vol.3 リーディング 「庭にはニワトリニ羽にワニ/キニサクハナノナ」

作:小川未玲 演出・出演:志賀廣太郎 出演:伴美奈子ほか  
個性の違う生き物が対立を乗り越えて仲よくなるコメディ「庭」、誠実とは何か、そして人が人を思いやる気持ちの尊さを描いた「キニサク」の2本立てを、親しみやすいピアノ生演奏付きの「立体読み聞かせ劇場」と題して上演しました。テレビでおなじみの志賀廣太郎さんをはじめとした実力派の出演者で、子どもから大人まで気軽に楽しめる小品が誕生しました。



7月&8月

## 第5回せんがわ劇場演劇コンクール& グランプリ受賞記念公演

基礎力、表現力、制作力、将来性はもちろん、「せんがわ劇場とともに地域に深く関わって活動したい!」という熱いハートを持った6団体が、個性豊かな40分の作品を上演した2日間。熱い演劇バトルに、たくさんのお客さまがご来場されました。  
グランプリをはじめ4冠を獲得した劇団820製作所による3月の受賞記念公演では「悲しみ」[izumi]の2作品を上演しました。  
グランプリ:劇団820製作所、オーディエンス賞:イマカラメガネ、演出賞&脚本賞:波田野淳統(劇団820製作所)、俳優賞:洞口加奈(劇団820製作所)、特別賞:劇団ボニース



8月

## おらほせんがわ夏まつり

市民サポーターが主体となってさまざまな企画を開催しました。ホールでの市立第六中学校演劇部とTHEATRE MOMENTS(第4回演劇コンクールグランプリ)による演劇上演のほか、綿菓子配布、フリーマーケット、仙川駅前のフラッシュモブと盛りだくさんで、最終日には商店街パレードに劇場の衣装を身に付け参加し、地域のお祭りを盛り上げました。

## 夏休み子ども表現ワークショップ 「シャル・ウィ・ダンス? シャレ・言ッ・ダンス!？」

講師:スズキ拓朗(振付家・演出家・ダンサー)  
スズキ拓朗さんのユニークな表現や振付に、子どもたちはあっという間に夢中になりました。発表会では、短期間にも関わらず大変完成度の高い内容に、観覧の皆さまから大拍手。ワークショップで初めて知り合った仲間と作品を創りあげた達成感が笑顔がはちきれました。

8月&3月

## 第3回せんがわピアノオーディション&受賞コンサート

選考委員長:高橋多佳子  
15分間の演奏に審査員からのインタビューが加わることで、演奏者の人柄も垣間見えるユニークな審査に、20名の若手が挑みました。地域の方々が見守る中、とてもアットホームな雰囲気でした。受賞コンサートでは、ピアノに真摯に向かうフレッシュな演奏に、お客さまから拍手喝采が贈られました。  
最優秀賞:中迫研、優秀賞:菊池広輔、優良賞:奥谷翔・篠村友輝哉



9月

## JAZZ ART せんがわ 2014

出演:巻上公一、坂本弘道、藤原清登、坂田明、伊藤キム、スガダイロ一、センヤウ、内橋和久、沖至、友川カズキほか  
最先端の音楽やアートを紹介する、日本で唯一の即興演奏のフェスティバルも7回目を迎えました。今回も国内はもとより海外からも多数出演。駅前や公園では親子で楽しめるライブ「オープンスター」[CLUB JAZZ屏風]、仙川地域の他のお店では、ダンスとのコラボレーション・より前衛的なライブなど、他に類を見ないライブパフォーマンスが繰り広げられ、魅力的で濃密な2日間となりました。



5月&11月

## 市民参加演劇ワークショップ&合同成果発表会

年々成熟していく市民参加演劇。今年は趣向を変えて「演技」「身体表現」「朗読」「舞台技術」「広報・制作入門」の5つのワークショップを開催しました。未経験者を含む総勢44名が、プロのスタッフの指導のもと技術を磨き、合同成果発表会「わが町、せんがわ」市民演劇祭を行いました。発表会は満員御礼で、参加者からは「劇場の魅力を体験できた」、「幅広い世代と交流を持てた」など高い満足度をしめす意見をいただきました。



12月

## せんがわシアター121 Vol.4「紙屋悦子の青春」

作:松田正隆 演出:越光照文 出演:福島梓、伊東達広ほか  
終戦間近、兄夫婦と暮らす紙屋悦子のもとにきた縁談の相手が、密かに思いを寄せる明石少尉ではなく、彼の親友永与少尉だったことから始まる、優しくせつない愛の物語。前年度秋に上演され好評を博し、早くも再演が実現。まさに「再び観たい」と思っていただけのような質の高い作品を、地域に住む観客とともに育てていく」というせんがわシアター121のコンセプトにぴったりの作品になりました。



## 親子のクリスマス・メルヘン「幸福な王子」

原作:オスカー・ワイルド 構成・演出:佐川大輔 出演:中原くれあ他  
王子の銅像とツバメが主人公の珠玉の童話を、第4回演劇コンクールでグランプリ・オーディエンス賞・演出賞を受賞したTHEATRE MOMENTSの佐川大輔さんの演出で上演しました。観客の想像力を刺激しながらストーリーをわかりやすく伝える表現手法で、大人から子どもまで楽しめる舞台に加え、恒例のサンタイベントや、イラストコンクールで選ばれた子どもたちの絵による絵本など、せんがわ劇場からのクリスマスプレゼントを皆さまに届けました。



11月&1月

## 伝統芸能ワークショップ&おらほせんがわ落語会

講師:柳家三語楼(断家)  
小学生から大人まで総勢6名が希望の演目に挑戦。発表会ではプロの断家に学んだ成果をみごとに披露して爆笑を誘いました。同日開催のプロの寄席も大いに盛り上がり、笑いに包まれた一日となりました。



## 地域連携公演(桐朋・白百合)

桐朋学園芸術短期大学創立50周年事業でもある音楽劇「藤原太郎物語」+アフターコンサート(11/7~10)は、以前サンデー・マティネ・コンサートPlus+で好評を得た作品を拡大版で上演。白百合女子大学連携公演(11/27・28)は、幻燈絵本ライブ「雨ニモマケズ」「ギャンバジいさん」と、18世紀のフランス喜劇「奴隷の島」のリーディング公演。桐朋学園芸術短期大学連携公演(1/29~2/1)では、シェイクスピア全作品を登場させた井上ひさし渾身の音楽劇「天保十二年のシェイクスピア」を上演しました。

2月

## 音楽劇「橋を渡る」

原作:台本構成:七海凧 演出:横山由和  
出演:天野真由美、江原千花ほか  
日本ミュージカルの名作の数々を生み出した横山由和さんを演出に迎え、七海凧さんの原作・台本構成によるオリジナル作品を上演しました。心あたたまる愛と夢と再会の物語の舞台「8本の橋の架かる町」は、地元仙川がモデルで、まさに町ぐるみ、地元ぐるみの公演になりました。



## 楽しみながら、みんなで劇場をサポートしています 市民サポーター募集

平成20年の開館時以来、せんがわ劇場アンサンブル→せんがわ劇場市民アンサンブル→せんがわ劇場市民サポーターと名称を変えながら、劇場をサポートするボランティアスタッフが活躍しています。主催公演の際に、受付や案内係で劇場の顔としてお客さまをお出迎えするほか、プロと共に舞台装置製作や衣裳スタッフとして参加したり、劇場応援マガジンの編集発行など、活躍の場は多岐にわたっています。劇場ならではのユニークな活動に、あなたも参加しませんか?



## 貸館のご紹介



## 本格派の劇場で、日ごろの成果を発表しましょう

せんがわ劇場を、みなさまの発表の場として使ってみませんか?121席のミニサイズながら、音響・照明・見やすいな壇の客席など、本格的な設備を持つ劇場の舞台に立つのはひとあじ違うと好評です。初めてでも、劇場常駐の舞台スタッフとの打ち合わせやサポートで、安心してご利用いただけます。自慢のスタインウェイのピアノと共に、お待ちしております。また、サークルの練習などに便利なリハーサル室もございます。

## ○ホール・リハーサル室利用のご案内

舞台芸術活動を中心に、どなたでもご利用いただけます。

## ■申込みの流れ

①使用登録(窓口のみ) → ②申込み(電話または窓口) → ③使用申請(申込みから1週間以内/使用料納入/窓口のみ)  
詳しくはお問合せください

## せんがわ劇場 NEWS VOL.9

2015年3月発行



編集・発行 調布市せんがわ劇場(調布市生活文化スポーツ部文化振興課)  
〒182-0002 東京都調布市仙川町1-21-5  
TEL:03-3300-0611 FAX:03-3300-0614  
(受付時間:午前9時~午後7時)  
e-mail:sggekijo@sengawa-gekijo.jp  
HP:http://www.sengawa-gekijo.jp/  
休館日:毎月第3日曜日(祝日の場合はその直後の平日)

京王線仙川駅より徒歩4分  
(京王線新宿駅より快速で20分、各駅停車で25分)  
●車でご来場:近隣の有料駐車場をご利用下さい。障がい者用駐車場は1台分ございます。  
●自転車でご来場:劇場裏側搬入口に専用駐輪スペースがございます。  
●車椅子等をご利用の方はスムーズなご案内のため、事前にご連絡ください。

